

**英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業  
廃止措置研究・人材育成等強化プログラムにおける人材育成活動  
(3)一東京大学「遠隔操作技術及び核種分析技術を基盤とする  
俯瞰的廃止措置人材育成」実施状況一**

The Center of World Intelligence Project for Nuclear S&T and Human Resource Development,  
Human Resource Development and Research Program  
for Decommissioning of Fukushima Daiichi NPS (Nuclear Power Station)

(3) -The University of Tokyo, Current status of " Human Resource Development based on the development of remote control technology & nuclide analysis" -

\*鈴木俊一<sup>1</sup>, 岡本孝司<sup>1</sup>, 浅間一<sup>1</sup>, 高橋浩之<sup>1</sup>, 田村雄介<sup>1</sup>, 高橋隆行<sup>2</sup>, 横小路泰義<sup>3</sup>

<sup>1</sup> 東京大学, <sup>2</sup> 福島大学, <sup>3</sup> 神戸大学

東京大学の廃止措置基盤研究・人材育成事業である「遠隔操作技術及び核種分析技術を基盤とする俯瞰的廃止措置人材育成」で行われた研究及び教育実施状況について報告する。

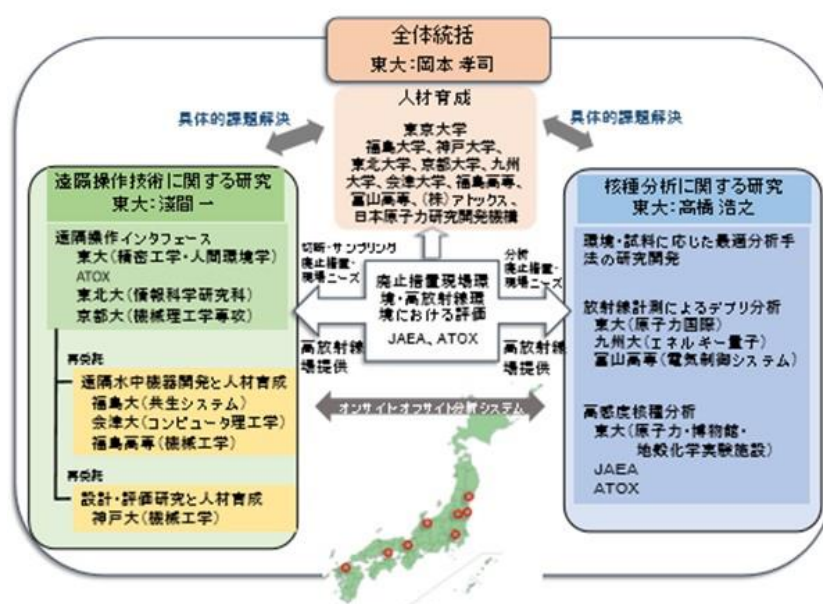
**キーワード**：原子炉廃止措置，人材育成，遠隔技術，分析技術

### 1. はじめに

福島第一原子力発電所の廃止措置は、溶け落ちた核燃料が最大のリスク源として存在するほか、高放射線環境下、大量かつ多核種の放射性廃棄物といった非常に特殊な環境での作業となる。このため、廃止措置を安全着実に進めるにあたっては、ロボット工学、化学工学、原子力工学、物理工学など総合的な学術を俯瞰的に理解し、かつ、専門領域については世界トップクラスの実力を持つ人材が必要である。本人材育成事業においては、主として遠隔操作技術と核種分析技術に関する専門的な研究教育を推進するとともに、総合工学としての廃止措置を俯瞰的に理解できる人材を養成することを目的として実施している。

### 2. プログラムの概要と実施状況

体制としては、東京大学大学院を中核機関とし、福島大学、神戸大学、日本原子力研究開発機構、福島高専、会津大学、京都大学、九州大学、東北大学、富山高専、アトックスと連携して遠隔操作技術及び核種分析に関する研究を実施するとともに、定期的なセミナーや協同の俯瞰的教育プログラム（含むサマースクール、インターンシップ）を進めている。また廃止措置に関する講義を実施し、学生の廃炉への理解・関心度を高めるとともに、現在あるいは将来の課題を解決するための新たな研究に取り組むことにより、基礎的研究並に廃炉人材育成を推進している。



<sup>1</sup>Shunichi Suzuki<sup>1</sup>, Kouji Okamoto<sup>1</sup>, Hajime Asama<sup>1</sup>, Hiroyuki Takahashi<sup>1</sup>, Yusuke Tamura<sup>1</sup>, Takayuki Takahashi<sup>2</sup>, Yasuyoshi Yokokohji<sup>3</sup>

<sup>1</sup>The University of Tokyo, <sup>2</sup>Fukushima University, <sup>3</sup>Kobe University